

コロナ後の社会を創る 国際機関とのビジネス連携

－ 日本企業への期待 －

高橋雅央 新規連携推進室 室長
長嶺義宣 上級資金調達官



Reach every child
www.gavi.org

1

イントロダクション

世界の動きと国際機関が切り拓く
ビジネス連携の可能性

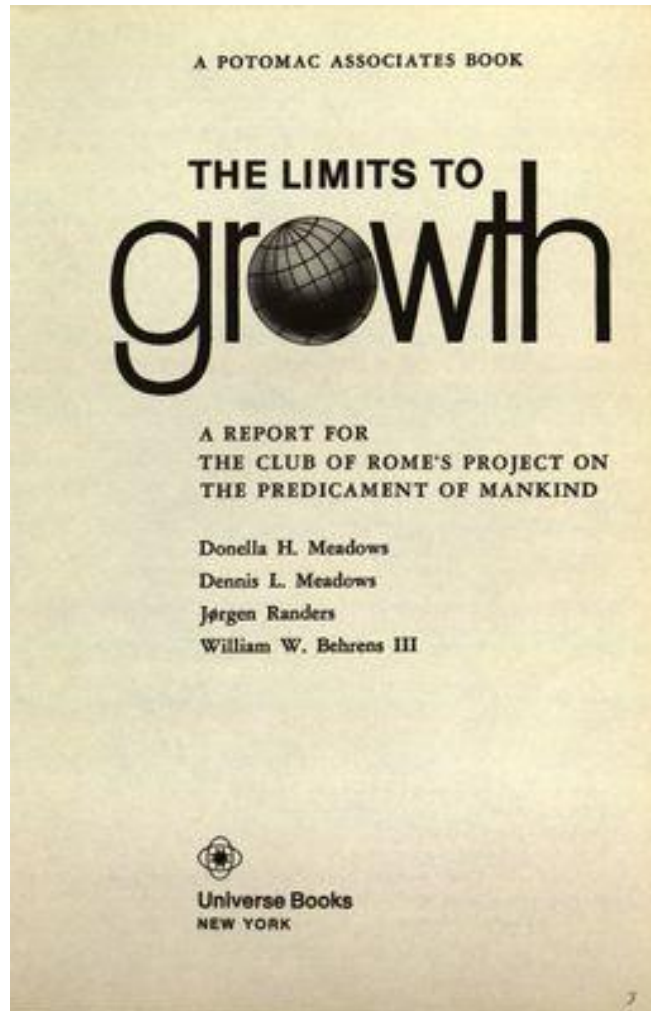
I M A G I N E
John Lennon



MUSIC FROM THE MOTION PICTURE

**Imagine all the people
Sharing all the world"**

John Lennon, 1971



The Limits to Growth

The club of Rome, 1972

50年後の今 . . .

COVID-19 Pandemic, 2020/2021/2022



Photo by [Marcelo Renda](#) from [Pexels](#)

ひとつの地球・他人の終焉



One Shared World

The end of 'others'
ESG, SDGs, Stakeholder Capitalism

足元に広がる様々な世界課題



気候変動の脅威



Photo by [Markus Spiske](#) from [Pexels](#)

新たな地政学リスク



広がる貧困・経済格差

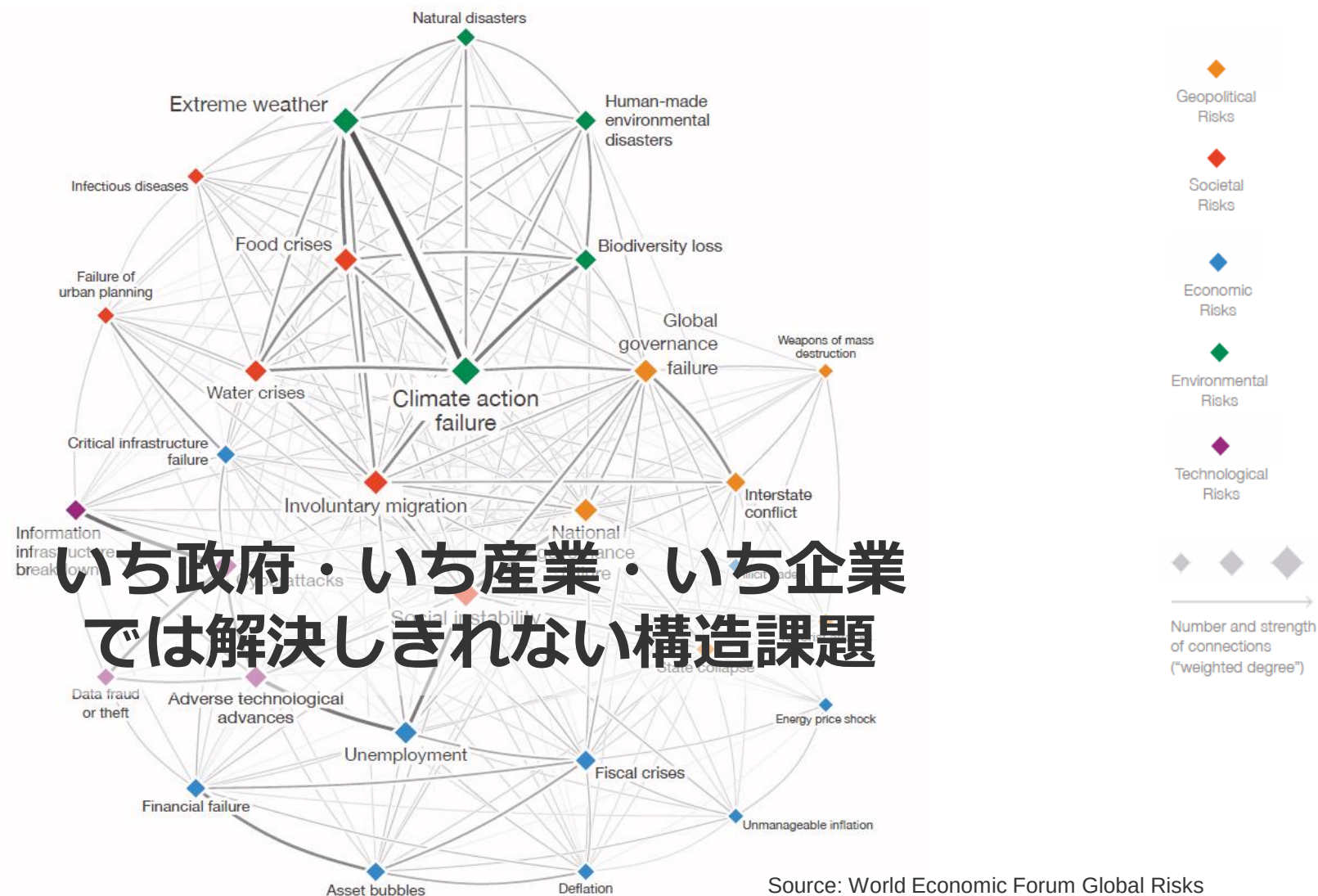


新たなグローバル・ガバナンスの模索

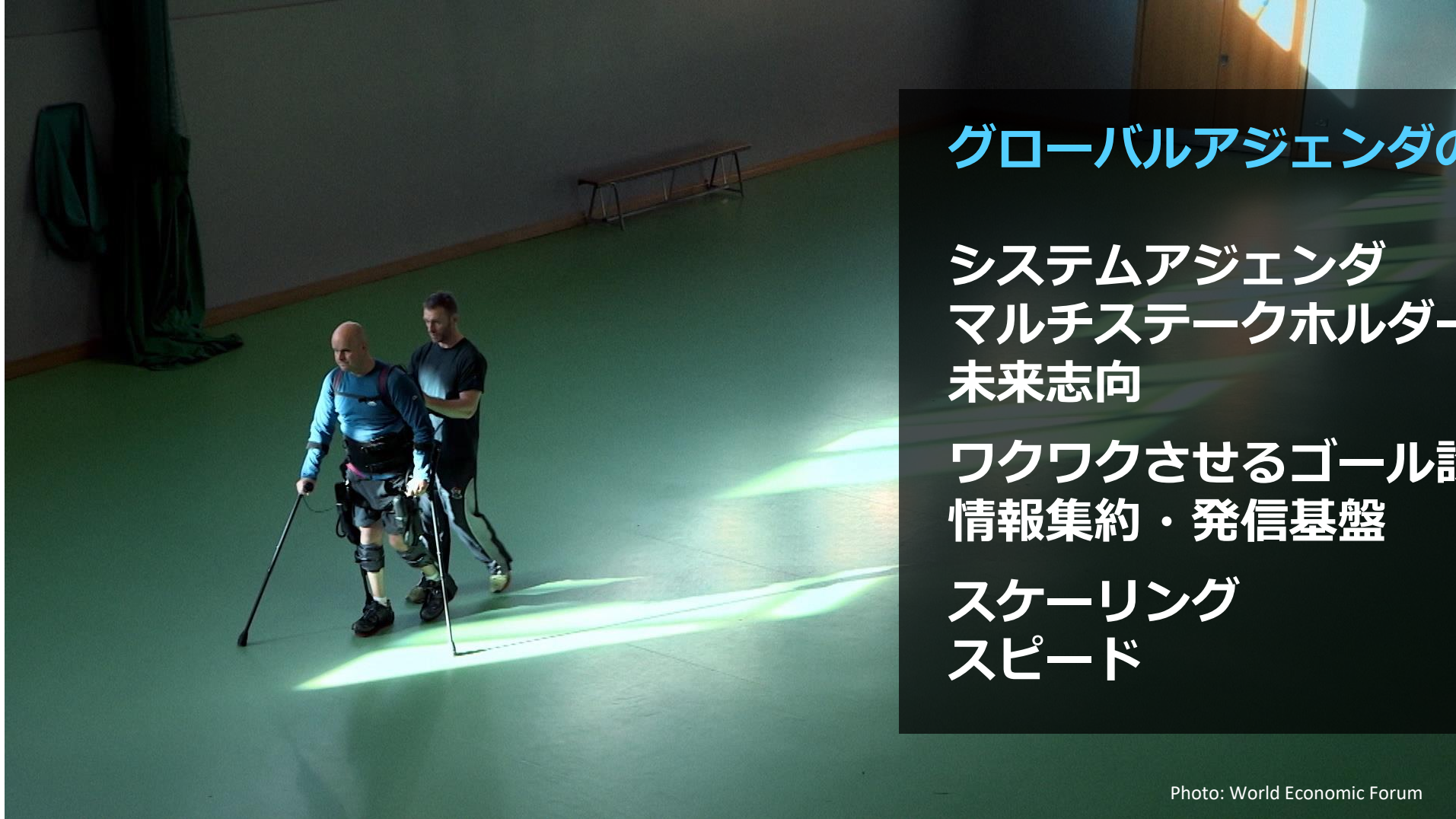


Photo by [Mathias P.R. Reding](#) from [Pexels](#)

複雑に絡み合う世界課題



課題解決から未来創りへ …エコシステム変革への挑戦



グローバルアジェンダの変化

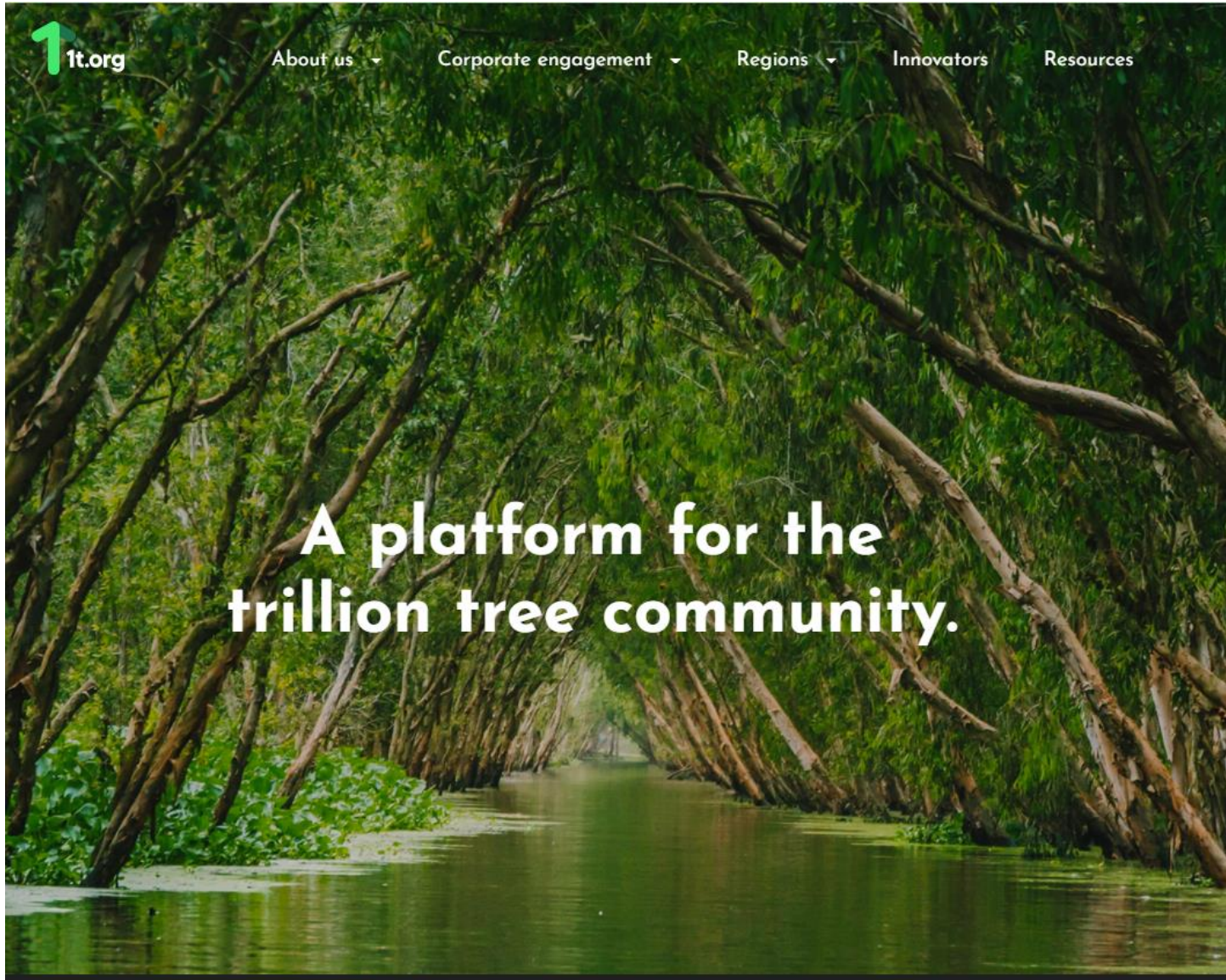
システムアジェンダ
マルチステークホルダー参画型
未来志向

ワクワクさせるゴール設定
情報集約・発信基盤

スケーリング
スピード

Photo: World Economic Forum

セクターを超えた協働のスケールアップ



OUR MISSION

Conserving, restoring and growing 1 trillion trees by 2030

We drive change by mobilizing the private sector, facilitating multi-stakeholder partnerships in key regions, and supporting innovation and ecopreneurship on the ground.

1t.org is part of the World Economic Forum's efforts to accelerate nature-based solutions and was set up to support the UN Decade on Ecosystem Restoration 2021-2030.

What we do



Mobilize

We're here to mobilize a global movement to conserve, restore and grow 1 trillion trees by 2030.



Connect

The scale of this global challenge is too large for any actor to achieve alone. We foster collective action.



Empower

Many projects and solutions are ready to be scaled. We showcase models that work and empower them to reach new heights.

Source: <https://www.1t.org/>

自社の志を明確にした活動展開を

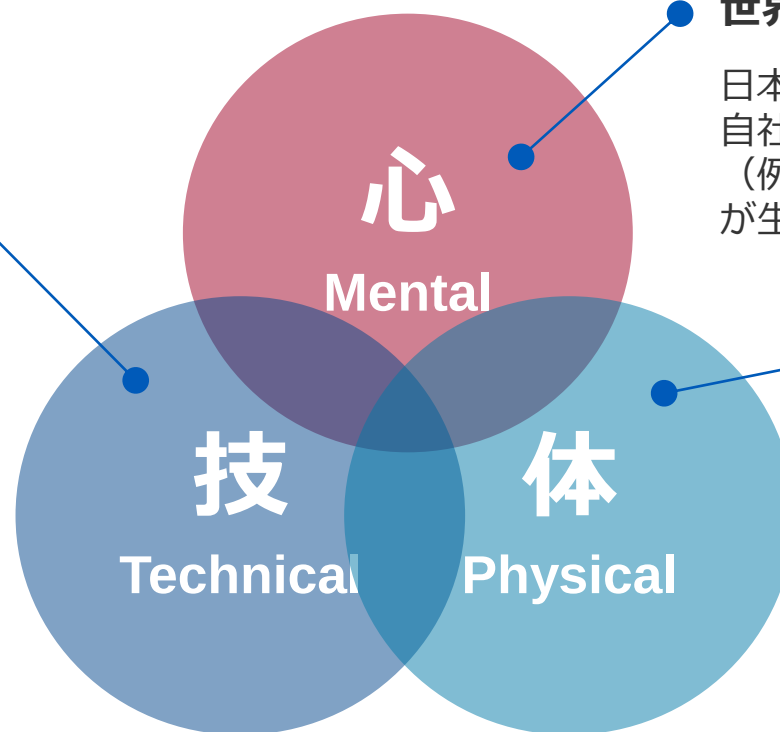
自社の目指す方向性・特長・強みを振り返り、「なぜ自社が」を明確にする。
一人称で語れる課題に対峙していますか？

世界舞台での活躍を広げる「心技体」

目指す枠組みをシステム思考で描くスキル

実現したい社会デザインが描けている/描かかれているか？

マルチステークホルダーのコンテキストの中で、自らの貢献要素が明確に描けているか？



世界文脈で自らの役割を定める

日本の当たり前を問い直しているか？
自社が目指す未来の方向性と合致？
（例）100の「投資」で150の「インパクト」
が生み出せる領域か？

エコシステムを動員し共創する

協働に向けた自社の人・組織の関わり方が描けているか？

アウトプットに向けて、変化を受け止め・
また変化を促すマインドセットが共有されているか？

国際機関との協働のすすめ

- ・ 国際機関は各々のミッションが、複雑に絡まった構造課題の解決そのもの
- ・ 国際機関との連携を通して、より大きな課題設定への挑戦が可能に
- ・ 協働の場は、自社の成長と社会インパクト創出を両立させる場に

本日の事例紹介



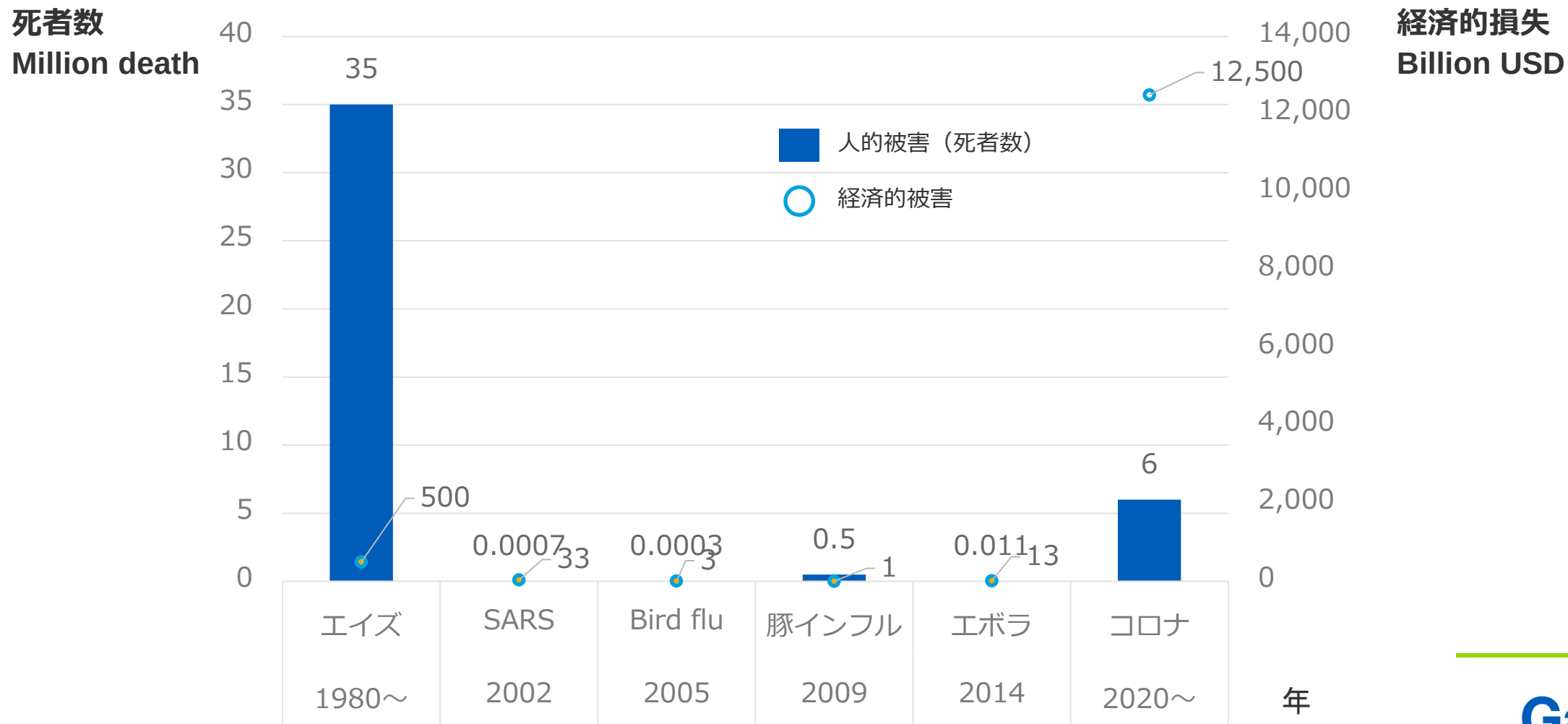
本日のゴールイメージ

国際機関と協働してみたい！
Gaviと一緒に取り組みたい！

2

パンデミックと ワクチンの位置づけ

パンデミックがもたらす損失

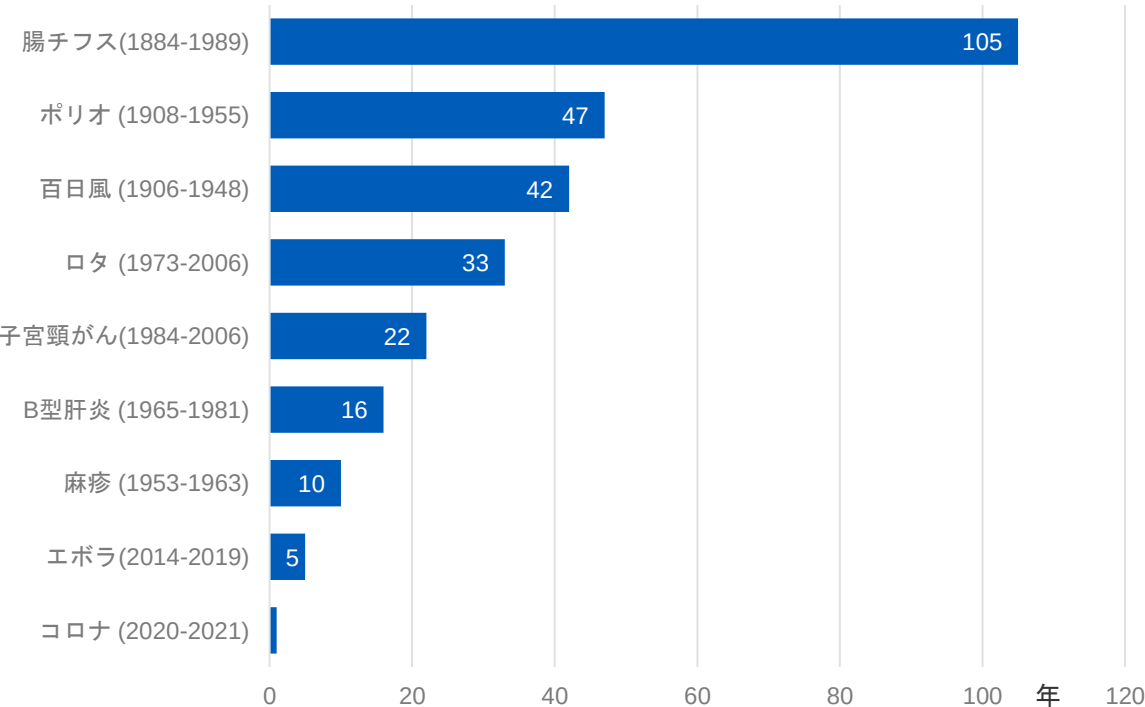
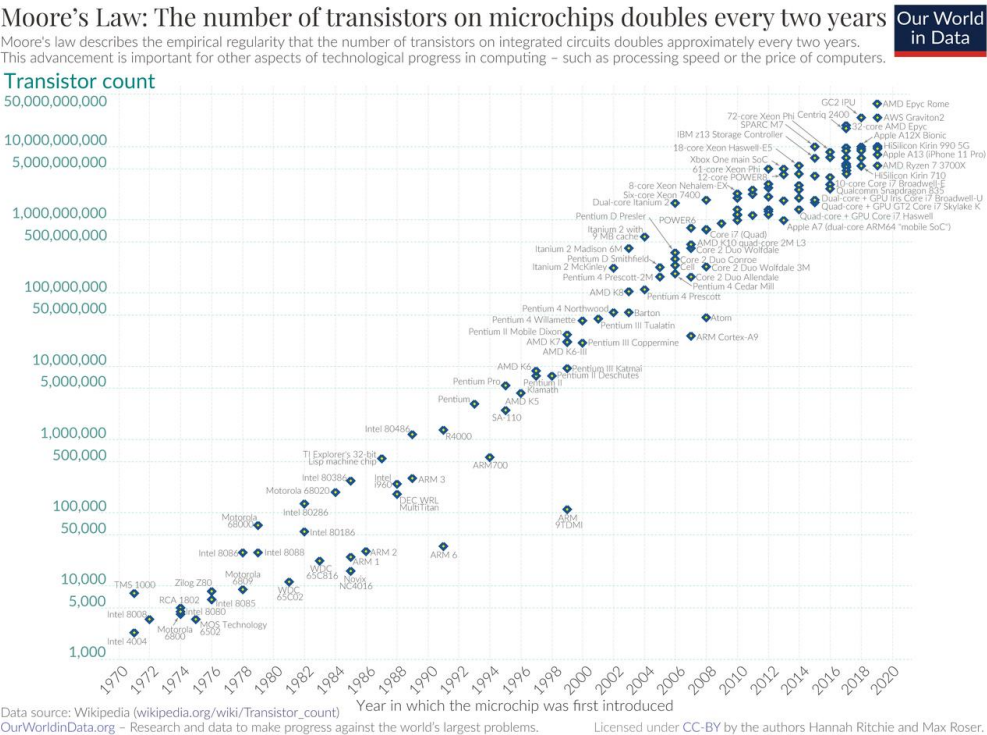


技術革新による広がる可能性

ムーアの法則

- 半導体回路の集積密度は1年半～2年で2倍となる

ワクチン開発との比較

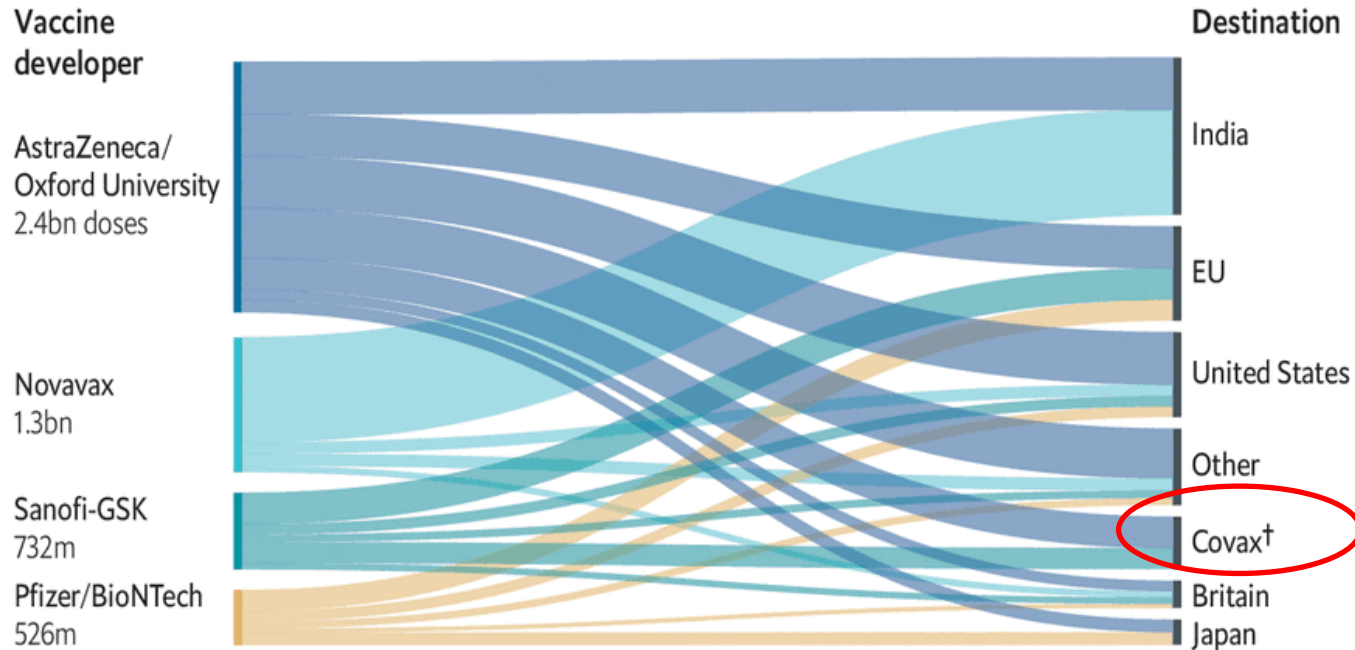


国際協力によるワクチンの分配

現時点で、13.8億回分のコロナ・ワクチンを144カ国に配布

Getting a piece of the action

Covid-19 vaccines, top four by confirmed number of doses ordered*, to November 12th 2020



Sources: Duke Global Health Innovation Centre; press reports

The Economist²⁰

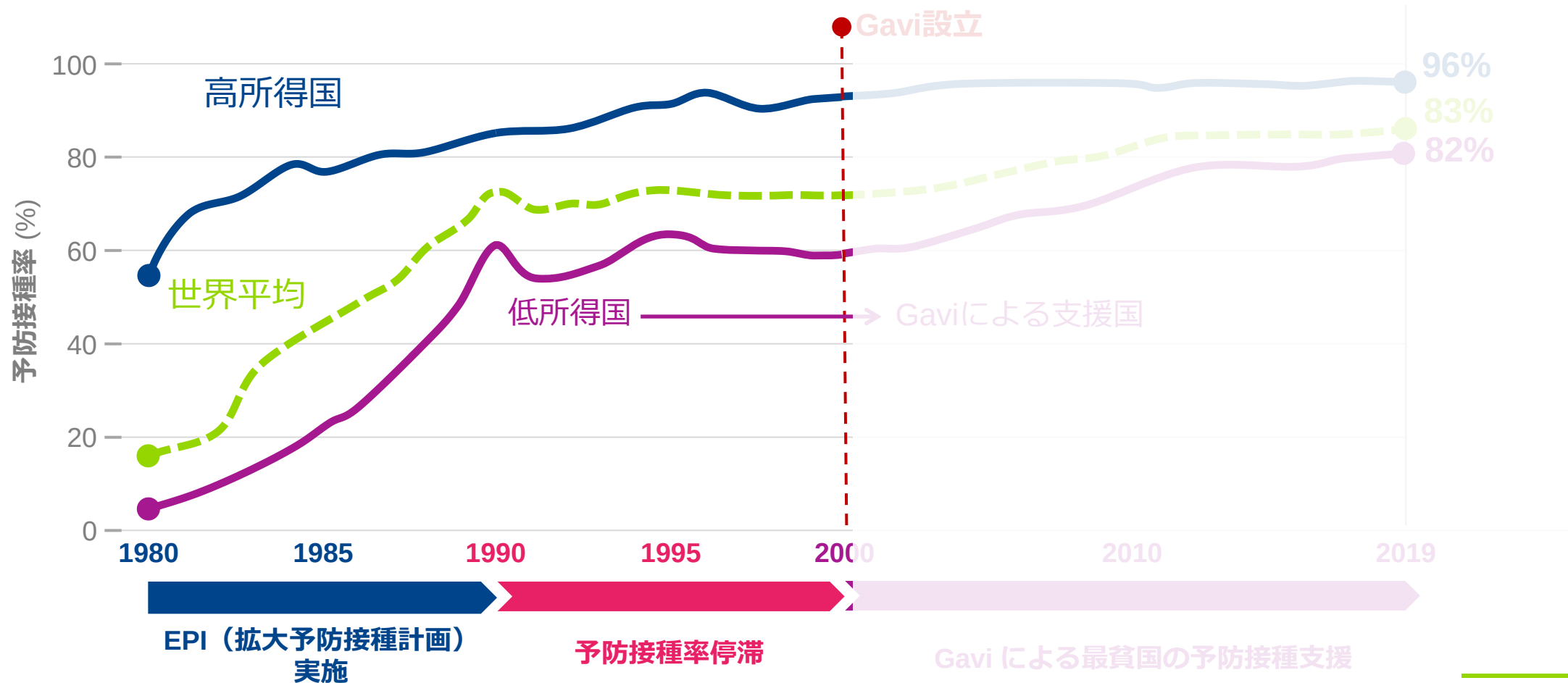
*There may be gaps due to the speed of developments and lack of public knowledge †An organisation working for equitable access to vaccines



3

GAVIとは

1980年以降の予防接種率の推移

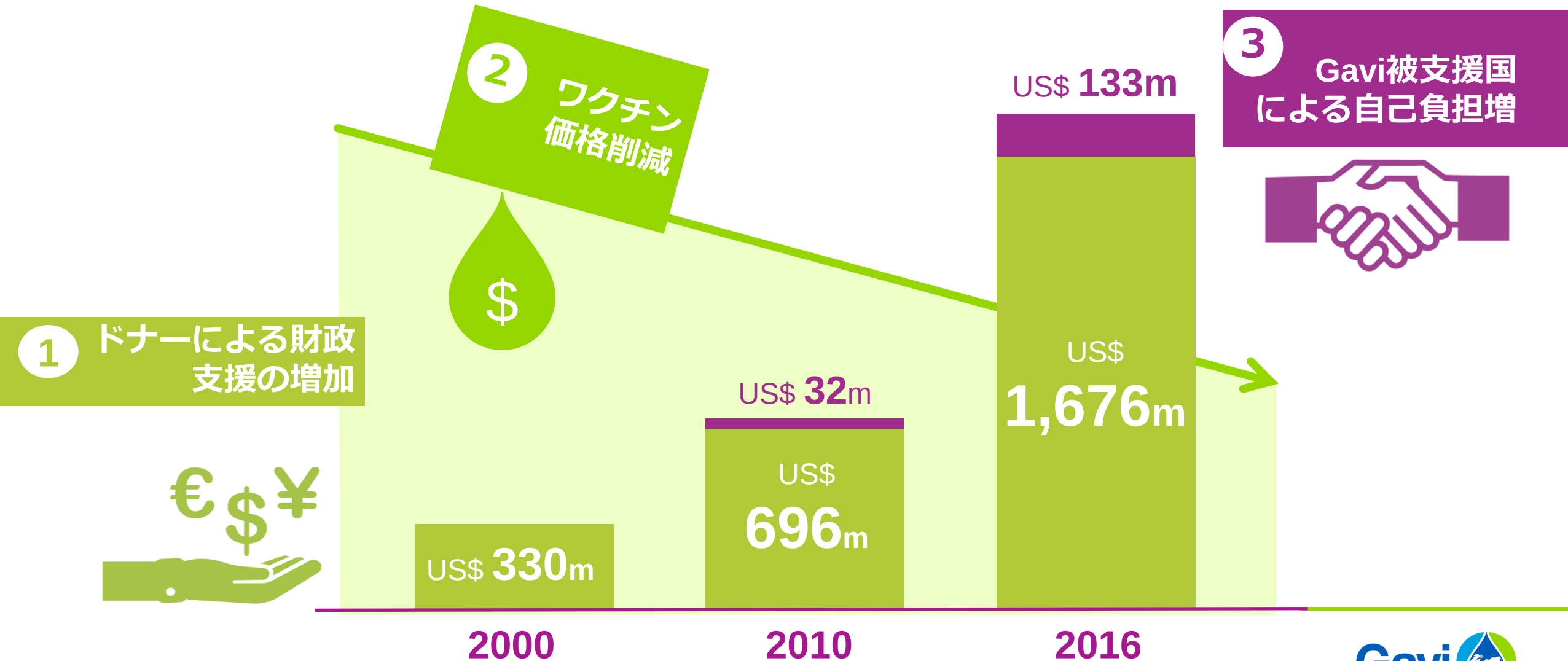


Gavi ワクチンアライアンスとは

本部所在地	スイス（ジュネーブ）
その他拠点所在地	米国（ワシントンDC）
概要	2000 年に開催された世界経済フォーラムで発足したグローバルなパートナーシップ機関。予防可能な感染症から子供を守るために低所得国にワクチンを低価格で提供することを目指す。 - 先進国がGAVI アライアンスの主要なドナーであり、総資金の約4分の3を提供する（2021年度の拠出額上位は米国、イギリス、ドイツ、フランス、日本） - 年間の予算は約1,200-1,400億円、うち85%がワクチン等現物支給、残り15%が保健強化システム（HSS）と呼ばれる現金支給に使用される。 2021年には日本政府と共催でCOVAXワクチン・サミット（AMC増資首脳会合）を開催
人員数	590名
調達体制	UNICEFのコペンハーゲン事務所がワクチンの調達と輸送、コールドチェーンの役割を担う

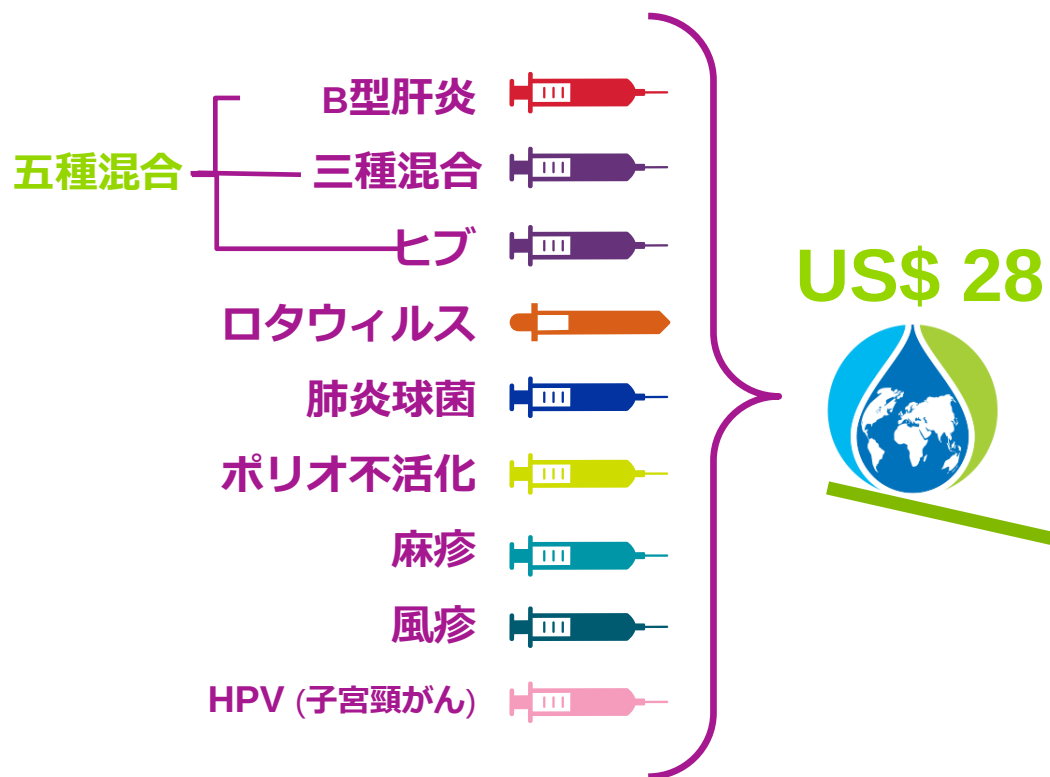


Gaviの資金調達モデル：「三本の矢」アプローチ



入手可能で持続的なワクチン価格を追究する

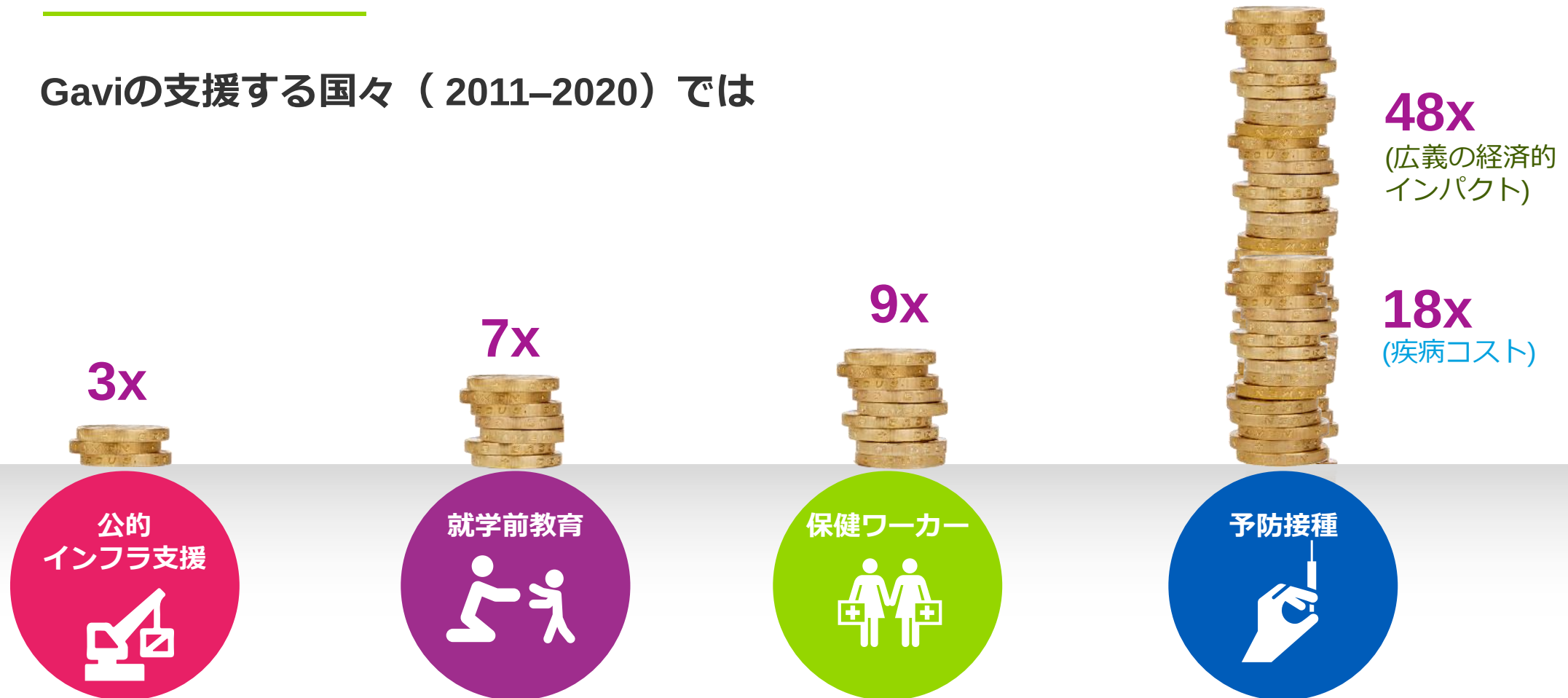
推奨される11種類のワクチン
の子ども一人当たりのコスト:



米国の市場
価格は約
US\$
1100

予防接種の投資対効果

Gaviの支援する国々（2011–2020）では



The Economic Benefits of
Public Infrastructure Spending
in Canada.
The Centre for Spatial
Economics, September 2015

The rate of return to the
HighScope Perry
Preschool Program.
Department of Economics,
University of Chicago, April
2009

Strengthening primary health care
through community health workers...
Dessaiegn H, Chambers R, Clinton C,
Phumaphi J, Sirleaf J, Evans T, et al.
2015

Return on investment from childhood
immunizations in low- and middle-
income countries, 2011-20.
Health Affairs. 35(2):199-207. Ozawa S,
Clark S, Portnoy A, Grewal S, Brenzel
L, Walker D. 2016

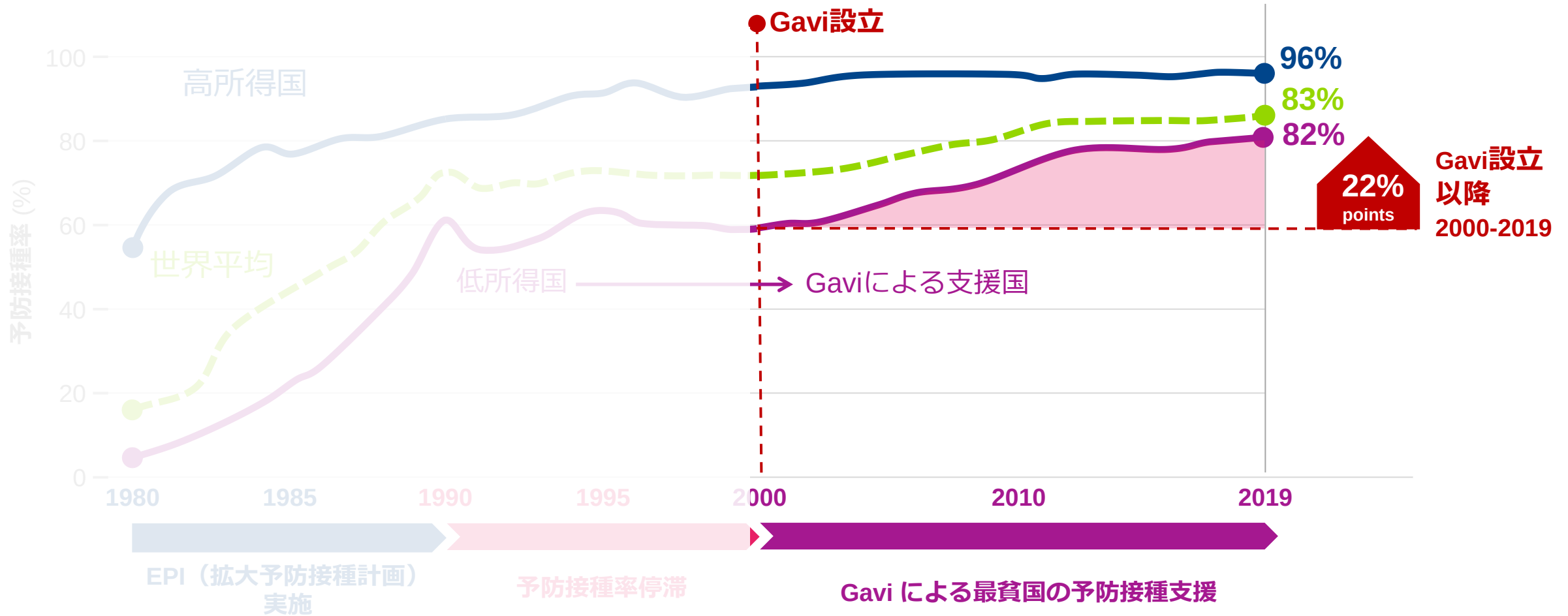
ワクチンは命を救い経済を強化する



4

官民連携のアプローチと事例

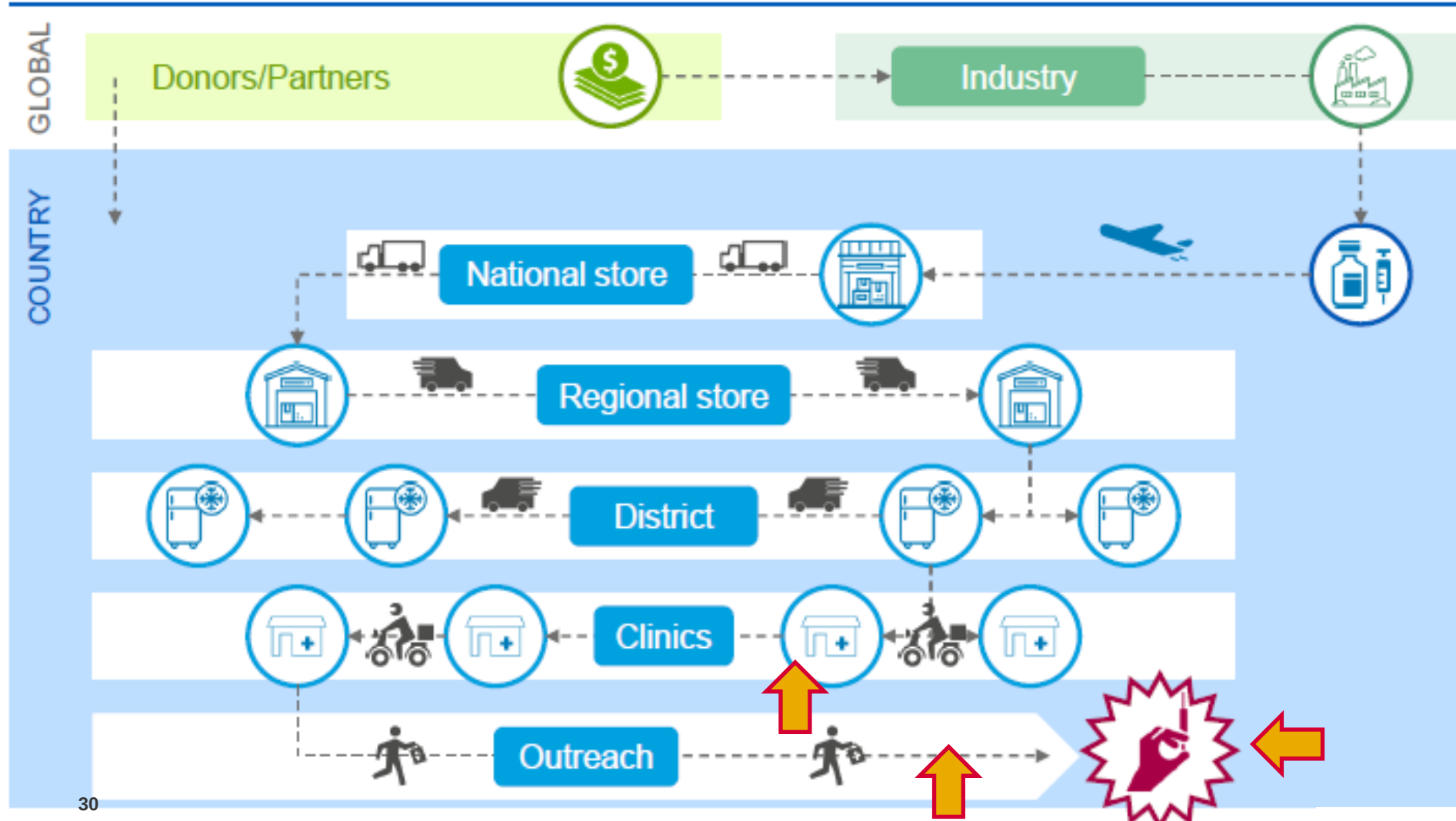
2000年以降の予防接種率の推移



Note: Includes DTP-containing vaccines, such as pentavalent vaccine.
Source: WHO/UNICEF Estimates of National Immunization Coverage, 2020

コールドチェーン確保の課題

Country level immunisation supply chain



GAVI期待するパートナーシップの分野

支援国に共通する課題

持続性の維持

接種率の向上

効率の向上

民間部門が価値を提供できる領域 例



ワクチン輸送専用
コールドチェーン



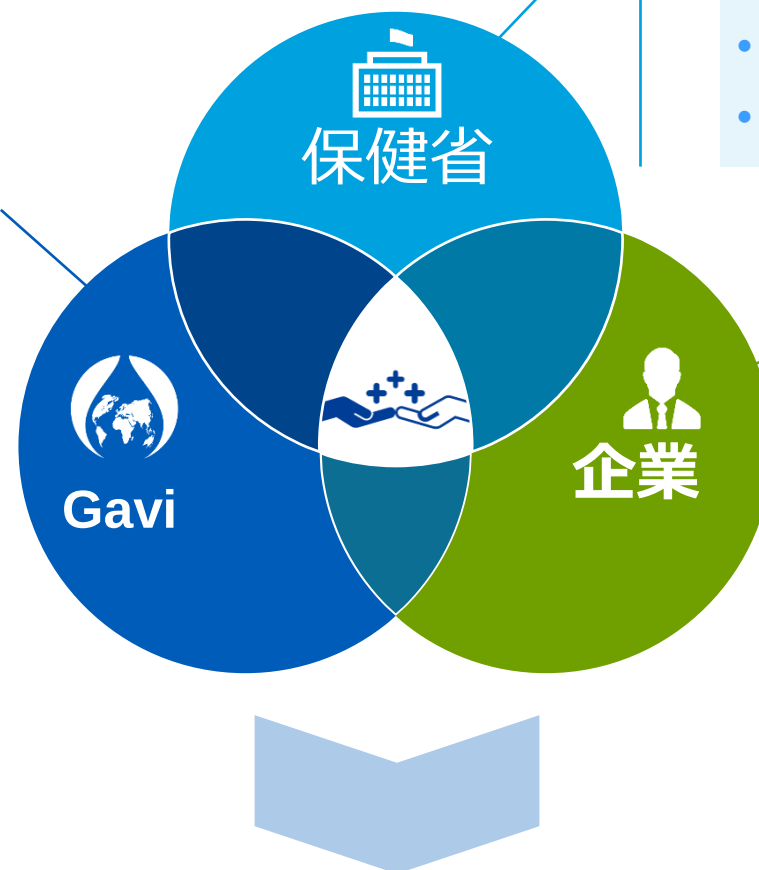
電子データの
取得と管理



受益者との
コミュニケーション

GAVIとの協働で生み出す付加価値

- ・持続可能性と効率性の向上
- ・受益者に対するサービス向上
- ・リスクとリソースの共有



- ・民間企業の専門性へのアクセス
- ・新たな解決策に向けた支援
- ・リスク低減

- ・国際社会の問題解決への貢献
- ・収益・市場の多様化
- ・新規市場への参入
- ・新しい市場・環境でのイノベーションの試行展開
- ・企業ブランドの向上
- ・事業リスクの低減

ビジネスが有する専門性とイノベーションを紡ぎ、
途上国の残りの20%の予防接種を受けていない子どもたちに手を差し伸べる

Gaviのパートナー企業群

COVAX パートナー



Gavi パートナー



日本企業の例 1 : NEC



Orchestrating a brighter world



問題点： 身分証明書がないため、支援すべき子どもが特定できない

解決策： 日本のNECとイギリスのスタートアップ
Simprintsと共創で幼児指紋認証システムを開発

Simprintsのスキャナーで指紋を撮影し、画像をBluetoothで
アンドロイド端末へ送信し、 NECの指紋認証エンジンが指
紋の照合を行う

世界で初めて5歳以下の幼児向けに指紋認証を行い、高い認
証率を達成

パートナーシップ： バングラデシュで予防接種活動におけ
る幼児指紋認証の実証実験を実施 [リンク](#)



日本企業の例 2 : 豊田通商



問題点： ラスト・ワンマイルにおけるワクチン配布の困難さ

解決策： 豊田通商は内部温度を2℃～8℃の範囲で維持できる
ワクチン保冷車を開発

- ① 悪路・未舗装路の走行 ⇒ **ラストワンマイル**
- ② 適正な温度管理 ⇒ **コールドチェーン**

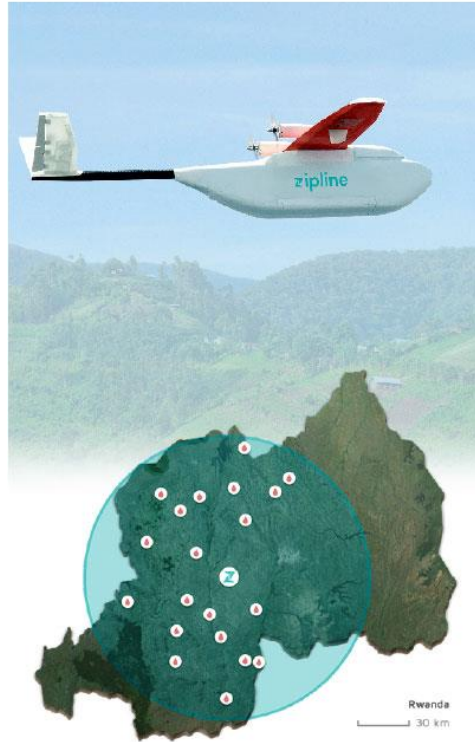
2021年にWHO PQS E002 Refrigerated Vehicles
カテゴリー承認取得

⇒ 国連が認証した初の公的なワクチン専用保冷輸送車両

パートナーシップ： アフリカ5カ国で車両を試走し既存の配送
方法と比較する調査を実施 [リンク](#)

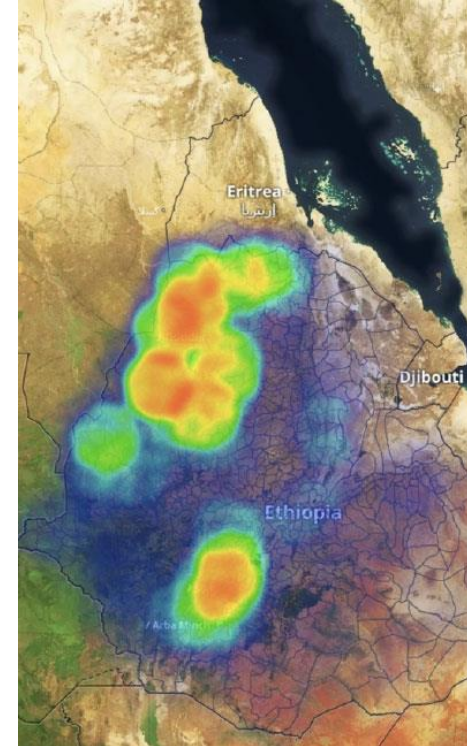


スタートアップとの連携（その1）



ドローン配送システム

- 配達時間を4時間から15分へ短縮
- ルワンダでの血液配送から始まる
- ガーナ、アメリカ、日本へ展開



ZENYSIS

予測分析

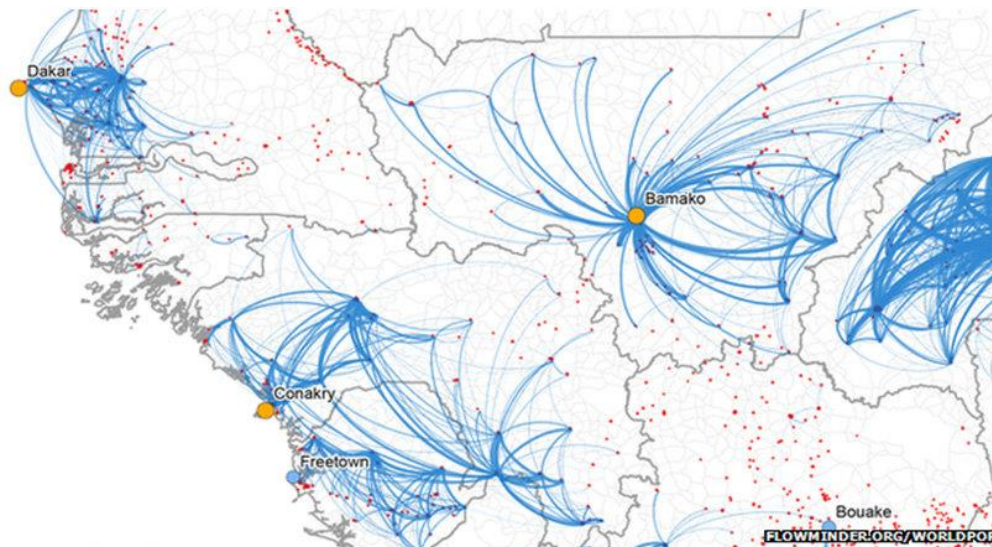
- 人工知能、ボット、機械学習を活用した感染症発生とワクチン供給ニーズの予測

スタートアップとの連携（その2）



ワイヤレスコールドチェーンモニタリング

- ワクチン冷蔵庫のリアルタイムデータおよびクラウドベースの分析による在庫状況の可視化や稼働チェック



FLOWMINDER.ORG

人口の測定

- 機械学習、地理空間マッピング、モバイルデータを駆使し、西アフリカ・コンゴ民主共和国の人口を推定・地図化

イベントとの連携



Gamers Without Borders

Saudi E-Sport Federation

世界最大のチャリティーE-sportsイベント

- 賞金は、COVID-19ワクチン配布に直接寄付
- これまで2.3億円の寄付



VAX LIFE

- ワクチン支援イベント「Vax Live」
- ヘンリー王子、ジェニファー・ロペス等参加
- 332億円の寄付金を集める

5

国際機関との連携への誘い

実りある協働に向けて

連携のススメ と 心構え

連携のススメ：こういった国際機関と組むべし

- ・ ビジネスソリューションがブレークスルーに役立つアジェンダ領域
- ・ 様々な機関との末広がりのネットワークが期待できるオープンな組織
- ・ 企業との連携に慣れている機関

企業側の心構え

- ・ 自らの狙い・目標（アウトカム）を2～3つ明確に定める
（何を得たいかをしっかり描く）
- ・ 常にオープンマインドで！
（セクターを超えた連携には「敏捷性」も必要）
- ・ ビジネス視点で提案・改善を
（ビジネスの「当たり前」が大きく役立つことも）

(日本) 企業の悩み

国際機関は様々な切り口から日本企業のニーズを補完・貢献できる可能性があります

日本企業の悩み

グローバルに何かしたい。
でもどこから？

もっと大きな社会課題解決
に関わりたい！

自社の可能性を世界で試したい

世界で協働できる仲間を広げたい

社員の働き甲斐を鼓舞したい

国際機関の利点

グローバルコンテキストで既に動いているので、協働を通して理解を深めることができる

各機関には、個々の命題に基づき、既に課題設定がある程度できている

世界規模でのインパクト創りの屋台骨としての枠組み（プロジェクト基盤）がある

各機関、自前主義的アプローチから協働モデルでの展開にシフトしている

長期のビジョンと、短期の見えるインパクトを世界レベルで共有

Gaviとの連携が生み出す機会

グローバル・ヘルス領域の
主要プレーヤーへのアクセス

関係国政府・保健省・国際機関ネットワーク・現地ビジネスパートナーとの関係構築

課題領域における
変革機会のマッチング

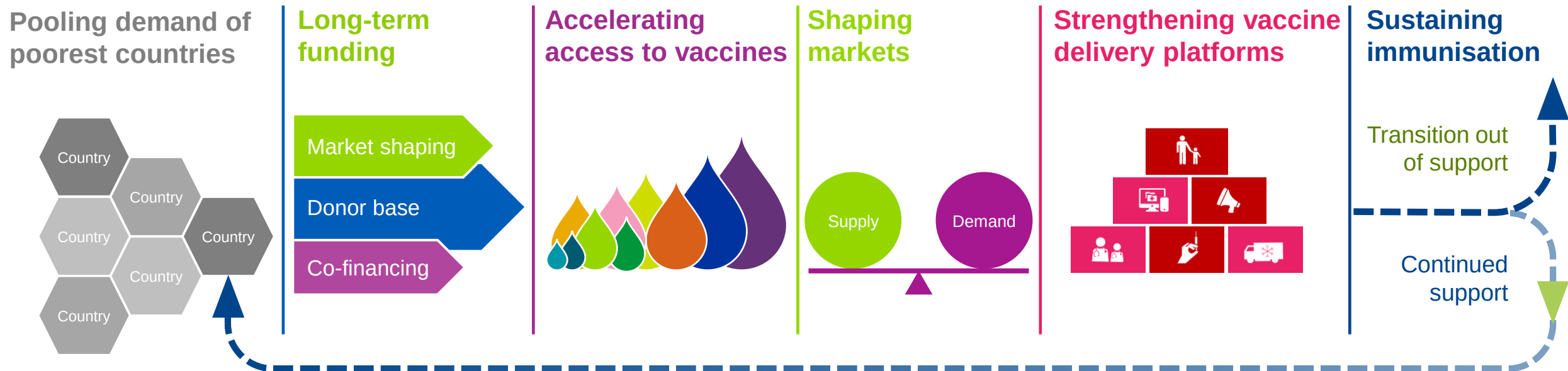
グローバル・地域・地方を跨ぐバリュー
チェーン上の機会を紡ぐ

社会インパクトの成果共有

インパクトストーリーの共有・グローバルへの
発信プラットフォーム

Gaviが提供するコラボ領域例

Gaviでは、各分野横断での連携を通して、
より良いワクチンバリューチェーンへのプロセス変革を推進



まとめ

国際機関（Gavi）との連携を通して、未来を共創しませんか？

- ・ **社会インパクトROIの最大化：**
 - ・ 既存の仕組みとの協働を通して、さらに大きな成果創出
 - ・ 目先の課題解決・未来創出を両立
- ・ **グローバル・ヘルス領域への挑戦：**
 - ・ 自社のソリューション・知恵・アイデアをグローバル・ヘルスの最先端で挑戦
 - ・ 人間の絶対的価値のアジェンダに正面から対峙
- ・ **事業成長の基軸に：**
 - ・ 国際機関の発信を通じたグローバルビジビリティ
 - ・ 新規市場進出の橋頭保づくり、ネットワーク拡大
 - ・ 他領域への挑戦・新規企画の経験蓄積
 - ・ 社会貢献インパクトストーリーのグローバル展開
 - ・ 社員の巻き込みを通じた「やりがい」創出

新たな連携を通して、世界の 未来にさらなる可能性創出を！

お問い合わせ：

高橋雅央
mtakahashi@gavi.org



長嶺義宣
ynagamine@gavi.org

